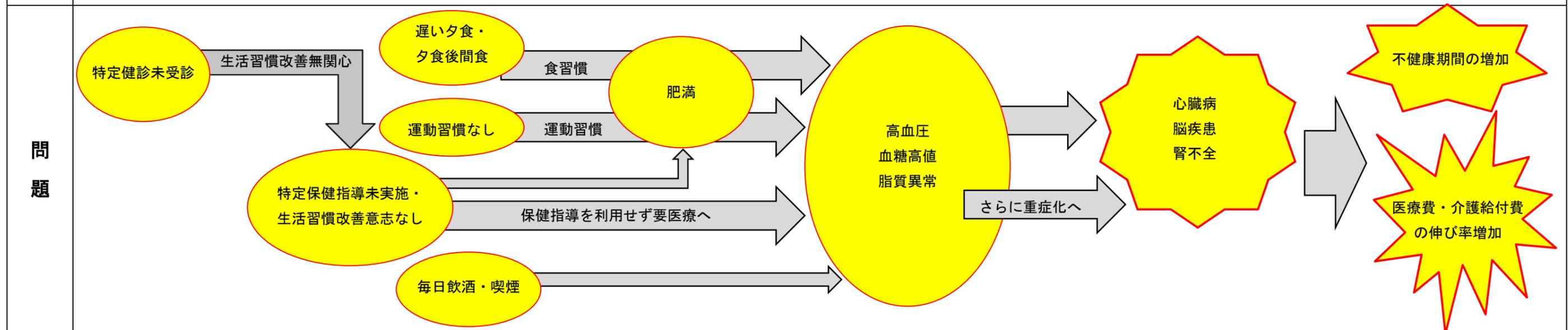


奥州市の現状分析と課題設定（奥州市国民健康保険第2期データヘルス計画）

	背景	不適切な生活習慣	生活習慣病予備群	生活習慣病	重症化	要介護状態・死亡	
現状	特定健康診査等受診状況等 特定健康診査受診率（H28） 44.2% 特定保健指導実施率（H28） 8.4%	特定健康診査受診者の質問票への質問別回答状況 1日30分以上運動習慣なし 65.7% 1日1時間以上身体活動なし 49.8% 生活習慣改善意志なし 29.9% 毎日飲酒 23.5% 週3日以上就寝前に夕食 17.8% 喫煙あり 12.8% 週3回以上夕食後間食 9.7%	特定健康診査受診者の有所見者割合 HbA1c 53.7% LDLコレステロール 47.0% 収縮期血圧 45.4% 腹囲 36.0% BMI 29.8% 中性脂肪 29.4% 空腹時血糖 24.8% 拡張時血圧 14.5%	中分類による疾病別統計（患者数） 高血圧性疾患 9,148人 その他の消化器系の疾患 7,449人 糖尿病 7,392人 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 7,256人 脂質異常症 7,183人	中分類による疾病別統計（医療費） 高血圧性疾患 5.5% 糖尿病 5.2% 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 4.8% その他の悪性新生物＜腫瘍＞ 4.8% 腎不全 4.6% その他の消化器系の疾患 4.0% 脂質異常症 3.3%	介護認定者の疾病別有病率 心臓病 59.2% 高血圧症 51.6% 筋・骨格 48.9% 精神 37.6% 脳疾患 32.2% 脂質異常症 24.6% 糖尿病 18.9%	主たる死因の状況 悪性新生物 43.4% 心臓病 30.1% 脳疾患 19.2% 自殺 3.0% 腎不全 2.9%



課題・事業	特定健康診査を全く受診していない者への受診勧奨により、受診率を上げる必要性。 特定健康診査受診勧奨事業	要医療となる前に生活習慣の改善を支援するための保健指導の有用性を理解してもらい、実施率を上げる必要性。 特定保健指導利用勧奨事業	健診異常値を放置している者への受診勧奨により、医療機関への受診率を上げる必要性。 健診異常値放置者受診勧奨事業	かつて生活習慣病で受診していたが受診中断した者への受診勧奨により、医療機関への受診率を上げる必要性。 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	医療費の伸びを抑えるため、糖尿病を起因として人工透析となる者を減少させる必要性。 糖尿病性腎症重症化予防事業
	運動していない者又は運動が不足している者への運動習慣を定着させるきっかけづくりの必要性。 運動習慣動機づけ事業	多受診・重複服薬は、不適切な受診行動も含まれるため、正しい受診行動に導く指導の必要性。 受診行動適正化指導事業	先発医薬品からジェネリック医薬品への切替を促し、薬剤費を削減する必要性。 ジェネリック医薬品差額通知事業		